HOSEI 2017 November・December

後援会だより

「子どもの母校は我が母校」
「後援会だより」は後援会が保護者の皆さまと作るページです。

首都圏父母懇談会報告 市ケ谷キャンパス

副実行委員長 **向井 知子**（沙織／文学部）

10月8日（日）に、市ケ谷キャンパス首都圏父母懇談会が開催されました。連休の中日は爽やかな天候に恵まれ、事前の申し込みを上回る896人の保護者の皆さまが来場されました。恒例となっている学生による企画（キャンパスツアー、似顔絵サービス、ミニコンサート）の他、特別見学会（今年度は沖縄文化研究所）、就職個別相談会、学部学科別懇談会、食堂でのランチ体験およびカフェテリアの開放などは、毎年好評をいただく企画です。

薩埵ホールでは国際文化学部栩木玲子教授をお迎えして、「英語のたしなみ、日本語の技法」をテーマにご講演いただきました。世界の中で英語を母国語とする国々や話す人々の割合について紹介され、本日のテーマからまず語学の壁が取り払われました。さらに「That's it!」を例に挙げ、日常で遭遇する場面や伝え方により、異なった表現となる特性をお話しいただきました。まるで法大生になって講義を受講しているかのように引き込まれていきました。また、学生による「That's it!」の翻訳例の紹介もあり、会場内は温かい雰囲気に包まれました。

続いて大学職員による「進級・卒業と充実した学生生活を送るために」と「就職活動の現況とキャリアセンターの対策」についての説明があり、メモを取られる方も多くおられました。

父母懇談会開催にあたりご指導ご協力を賜りました大学職員の皆さま、ご来場いただきました保護者の皆さまに心より感謝申し上げます。

首都圏父母懇談会報告 小金井キャンパス「未来を創造していく力を実感」

副実行委員長 **榊原 蔵**（僚／理工学部）

小金井キャンパスでは、父母懇談会の内容の充実を図るため、毎年新しい企画に取り組んでいます。

昨年は研究室を開放し、来校された父母の方々に、小金井キャンパスの技術力をご覧いただきました。

今年は田中優子総長の講演に関連付けて、AI（人工知能）をテーマにパネルディスカッションを企画しました。

果たして、AIが将来どんな社会変化をもたらすのか。AIの技術が進むと我々人間の技術は必要なくなるのではないかという素朴な疑問について、専門分野の先生方と田中総長を交えたディスカッションが行われました。

AIを開発する側、それを利用する側でそれぞれどのようにAIに期待するかという多面的な視点で、聞いている我々にもとても分かりやすい内容でした。

AIができることの限界や、AIの開発でさまざまな研究分野が活性化するという見通し、これからAI関係の仕事に就くために絶対必要な知識など、普段温和に見えた先生方が、まるで人が変わったように熱心に発言されていた姿が今でも印象に残っています。

タイトルな時間構成ではありましたが、パネルディスカッションを通して、過去や現在をしっかりと捉えて未来を創造していくという姿が感じられたことはとても有意義でした。

「小金井キャンパスの子どもたちの今」は、まさに未来に向かって学んでいる姿でした。

※（　）内は子どもの名前／学部

後援会から大学への寄贈品
（2007年度～2016年度／抜粋）

1体育館フィルムミラー（2007年度小金井キャンパス） 2アルミチェアおよびテーブル（2007年度小金井キャンパス） 3防球ネット（2007年度多摩キャンパス） 4 創立60周年記念植樹1（2007年度市ケ谷キャンパス） 5 創立60周年記念植樹2（2007年度市ケ谷キャンパス） 6 AED（2008年度市ケ谷キャンパス） 7 ラウンジテーブル・ベンチ（2008年度市ケ谷キャンパス） 8 コントラバス（2008年度交響楽団） 9 ポータブルアンプ一式（2008年度多摩キャンパス） 10 イベントテント（2008年度小金井キャンパス） 11 電子ピアノ（2009年度多摩キャンパス） 12 構内循環バス（2010年度多摩キャンパス） 13 司会台（2011年度市ケ谷キャンパス） 14 城山地区AED（2012年度多摩キャンパス） 15 楽器一式（2012年度応援団吹奏楽部） 16 小金井キャンパス開設50周年記念時計（2014年度小金井キャンパス） 17野外用テーブルチェア一式（2015年度多摩キャンパス） 18富士見ゲート「オレンジホール」移動観覧席（2016年度市ケ谷キャンパス）

首都圏父母懇談会報告
多摩キャンパス

副実行委員長　**坂内 ひろみ**（美穂／社会学部）

10月21日（土）、多摩キャンパスにて首都圏父母懇談会が開催されました。当日は、季節外れの台風接近で終日雨模様の中、576人の保護者が来場されました。

午前中は、社会・現代福祉・スポーツ健康の各学部棟を中心とした学生スタッフによるウォークツアーやキャンパス内の無料循環バスによる自由見学。体育館や図書館においては、教職員の皆さまが丁寧に案内してくださいました。普段学生が利用している学食では、通常メニューの他に、期間限定で提供している100円朝食を50食限定で用意させていただき、好評のうちに完売しました。

午後は全体会と学部別懇談会が行われ、全体会では、増田副学長による「自由を生き抜く実践知～長期ビジョン（HOSEI2030）について～」をテーマとした講演会が実施されました。参加者には、今後の大学の方針について、ご理解いただけたと思います。

その後、キャリアセンターの職員による直近の就職状況の説明があり ました。学部別懇談会では、在学生による学生生活の様子や就職活動の様子を直接聞くことができ、保護者の皆さまも熱心に聴き入っていました。

学部別懇談会の後には懇親会が行われ、多くの方にご参加いただきました。リラックスした雰囲気で大学関係者の皆さまと歓談されていました。直接お話しされたことで、大学や学生生活への理解も深まったと思います。

最後になりますが、ご来場の保護者の皆さま、ご協力賜りました大学関係者、学生の皆さまに改めて感謝申し上げます。

宮城県支部
キャンパス見学・野球応援

宮城県支部長　**小野寺 正浩**（萌希／理工学部）

宮城県支部のキャンパス見学会は2年に一度で、今年は10月7日（土）、8日（日）に開催しました。

小雨の降る中、仙台を出発。小金井キャンパスに着いた後は、まず南館の図書館を最初に見学して、データベース検索ツールの「CiNii Articles」や「Google Scholar」を紹介いただきました。検索の速さに加えて、引用率の高い論文や図書が上位に表示されるような仕組みがあり、理系学生が使いやすいシステムを導入している大学の姿勢に感銘を受けました。その後、わが子が普段利用しているであろう学食で昼食をとり、北館と東館も見学しました。

次に向かったのは、宿泊場所でもある多摩キャンパスです。広大なキャンパス内を、バスで移動しながら案内していただきました。キャンパスの大きさとスポーツ施設の充実度に驚きました。

その後、相模原のレストランで懇親会を兼ねた夕食をとってから、閑静な森に囲まれた百周年記念館に戻り、静かな環境の中、朝までゆっくりと休むことができました。

2日目は、楽しみにしていた東京六大学野球の応援から始まりました。試合開始30分前のエール交換から応援団、チアリーダーの皆さんにリードされ、われを忘れて応援しました。残念な結果ではありましたが、久しぶりに熱く楽しむことができた法政大学対東京大学の試合でした。

その後は、市ケ谷キャンパスに移動。ボアソナード・タワーと富士見ゲート、富士見坂校舎を詳しく案内していただきました。

今回は21人の参加でした。この活動を支部会員にさらに広め、次回はより多くの保護者の皆さまに大学を体感し「子どもの母校は我が母校」を感じていただきたいと思います。

最後に、温かく出迎え、案内していただいた後援会本部と大学職員の皆さま、ありがとうございました。

～後援会活動10年を振り返って～

年度／会長	後援会関係事項	支部設立等	大学と学生への寄付・助成・寄贈	大学略年表	出来事
2007 小川 敏夫	・創立60周年式典、祝賀会開催、60年史発行 ・後援会紹介DVD作成 ・ウィンドブレーカー、スポーツ応援ための横断幕作成	・福岡県支部総会 ・父母懇談会を法政フェアと同日開催	・後援会創立60周年記念の桜を植樹 ・チアリーディング部にコスチューム寄贈 プロジェクター（3キャンパス）、DVDプレーヤー内蔵テレビデオ／学生貸出用掲示板（市ケ谷）、DVDプレーヤー／防球ネット／リアルホイールバイク（多摩）、アルミチェア&テーブル／学生貸出用フィルムミラー／液晶モニター（小金井）、コートベンチ（石岡総合体育施設）	・工学部3学科（建築学科、都市環境デザイン工学科、システムデザイン学科）を改組転換し、デザイン工学部を設置 ・市ケ谷キャンパスに「市ヶ谷田町校舎」竣工	世界金融危機（世界同時不況） 新潟中越沖地震
2008 濱 清隆	・支部新入生父母の集いに大学職員が出向 ・経団連に学生採用早期化に対する要望書を提出	・新潟県支部設立40周年総会・父母懇談会を法政フェアと同日開催	・各キャンパスにAEDを寄贈 ・小金井キャンパス東館竣工に体育館施設を寄贈 野外用掛時計／ラウンジテーブル・ベンチ一式／ガット張り機（市ケ谷）、放送機器／プロジェクター／スクリーン／アンプ／ウォータークーラー／フットサルゴール（多摩）、ロールバックチェア（移動式観覧席）／リソグラフ／携帯型ロールスクリーン／ワンタッチイベントテント／液晶モニター／消音バット（小金井）、交響楽団　楽器（コントラバス、ファゴット他）（その他）	・理工学部、生命科学部、GIS（グローバル教養学部）を設置 ・大学院政策創造研究科を設置 ・小金井キャンパスに「東館」竣工 ・多摩キャンパスに「スポーツ健康学部棟」改修工事竣工	北京オリンピック・パラリンピック 第34回主要国首脳会議（北海道洞爺湖サミット）開催
2009 押山 憲昭	・大学に後援会業務を委託 ・学位授与式の二部制への移行により謝恩会取止め ・校友連合会との共同企画「特別講演会」を開催	・宮城県支部総会 ・父母懇談会を法政フェアと同日開催、佐賀・長崎県合併10周年	・「リーディング・ユニバーシティ法政」募金に積立開始 学生貸出用プロジェクター／学生イベント用テント／AED一式（市ケ谷）、貸出用モニターテレビ／電子ピアノ一式／ソファセット／自立式展示パネル／インドアサイクル／製氷機（多摩）、ワンタッチイベントテント／液晶モニター（小金井）	・スポーツ健康学部を設置	裁判員制度開始 民主党・鳩山由紀夫内閣誕生
2010 池邊 裕	・会則変更（総務の増員と監査の独立） ・経済的困窮学生に対しての支援について大学・校友連合会に提案	・山梨県支部と大分県支部10周年、宮城県支部20周年、静岡支部と山形県支部40周年	・多摩キャンパス構内循環バスの寄贈 現代福祉学部棟学生ラウンジ用モニター（多摩）	・現代福祉学部現代福祉学科を改組し、福祉コミュニティ学科を設置、臨床心理学科を設置 ・大学院政治学研究科に国際政治学専攻を設置 ・大学院工学研究科に生命機能学専攻を設置 ・大学院デザイン工学研究科（建築学専攻、都市環境デザイン工学専攻、システムデザイン専攻）を設置 ・小金井キャンパスに「北館・新管理棟」竣工	バンクーバー冬季オリンピック 東日本大震災
2011 今村 浩	・東日本大震災学生支援としての会費・入会金の免除と見舞金などの措置	・長野県支部と石川県支部20周年、浜松支部40周年	・ピアサポートや市ケ谷ラーニングコモンズの助成 ・各キャンパス講堂に司会台寄贈 ・エベレスト登山隊に遠征資金寄付 体育館衣類乾燥機（市ケ谷）、白馬山荘地デジTV（その他）	・理工学部創生科学科を設置 ・小金井キャンパス再開発第2期工事竣工	テレビ放送が地上デジタル放送に移行 「なでしこジャパン」世界一
2012 渡邊 秀雄	・大学主催「首都圏新入生父母説明会」の開催と協力 ・東日本大震災学生支援継続 ・大学に後援会業務を委託（追加） ・箱根駅伝応援用「のぼり旗」100本製作	・北海道支部30周年	・東日本大震災における被災学生への特別就学支援措置 ・応援団吹奏楽部に楽器寄贈 ・法政大学後援会奨学金の継続 城山地区AED（多摩）	・大学院公共政策研究科を設置 ・野球部の秋季リーグ戦優勝 ・小金井キャンパスに「中央館」竣工	ロンドンオリンピック・パラリンピック 第2次安倍晋三内閣誕生 東京スカイツリー開業
2013 千葉 大一	・東日本大震災学生支援継続 ・後援会がスポーツ応援隊の主体に	・愛媛県支部、香川県支部、徳島県支部、高知県支部10周年	・東日本大震災における被災学生への特別就学支援措置 ・法政大学後援会奨学金積み増し AED（市ケ谷）、アルミチェア、テーブルセット（小金井）、スポーツ法政取材用カメラ購入補助（その他）	・大学院キャリアデザイン学研究科、理工学研究科を設置	小笠原諸島・西之島の噴火 伊勢神宮と出雲大社が「ダブル遷宮」
2014 池田 隆	・東日本大震災学生支援継続	・宮崎県支部と福井県支部10周年、関西支部20周年、広島県支部30周年	・東日本大震災における被災学生への特別就学支援措置 ・法政大学後援会奨学金積み増し ・「小金井キャンパス50周年」時計を寄贈 チアリーディング部コスチューム（その他）	・田中優子総長就任 ・生命科学部を生命機能学科、応用植物科学科、環境応用化学科に改組 ・市ケ谷キャンパスに「一口坂校舎」竣工	消費税8%となる ソチ冬季五輪
2015 小林 章	・後援会ウェブサイトのリニューアル	・栃木県支部40周年	・多摩キャンパスに野外用テーブルチェアを寄贈 ・法政大学後援会奨学金積み増し	大学院連帯社会インスティテュートを設置	ラグビーワールドカップで南アフリカに勝利 日銀がマイナス金利導入を発表
2016 祖父江 一仁	・後援会パンフレット（FAQ）制作 ・HSCの活動支援	・岩手県支部・福島支部・郡山支部・佐賀長崎県支部50周年、茨城県支部40周年、岡山県支部20周年	・富士見ゲート地下2階「オレンジホール」への移動式観覧席寄贈	・市ケ谷キャンパスに「富士見ゲート」竣工 ・法政大学憲章制定 ・経営学部に英語学位プログラム（GBP）を設置 ・人間環境学部に英語学位プログラム（SCOPE）を設置 ・公共政策研究科にサステイナビリティ学専攻を設置 ・スポーツ健康学研究科スポーツ健康学専攻を設置 ・理工学研究科と情報科学研究科との横断型英語学位プログラム（IIST）を設置 ・理工学研究科システム工学専攻をシステム理工学専攻に、同専攻システム制御系と経営系をそれぞれ創生科学系と経営システム系に名称変更	熊本地震 リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック 英国の国民投票でEU離脱派が勝利

新潟県支部 神宮観戦&キャンパスツアーin市ケ谷

新潟県支部長 **山田 昭治**（大地／法学部）

10月7日（土）と8日（日）に東京六大学野球の「法政大学対東京大学」を観戦（23人参加）、さらに8日はキャンパスツアー（9人参加）を実施しました。

明治神宮野球場では、後援会の小林章顧問や校友会の中村寿美子総務部会長をはじめ、大勢の方々に出迎えていただきました。

東大の先発は、宮台康平投手。新潟県出身の東大OBである大越健介投手（元NHKニュースウオッチ9キャスター）以来、約30年ぶりに大学日本代表に選ばれた投手です。対する法大打線は、いい当たりはあるものの打線がつながりません。一方、東大は詰まりながらも小刻みに得点していきます。

終盤に新潟出身の鎌倉航捕手（法学部3年／日本文理高校出身）が代打で登場。一発に期待するも、日本ハムがドラフト7位指名の宮台投手に抑えられてしまいました。敗戦となり、伝説の東大「勝利の拍手」を目撃しました。

翌日も惜敗し、東大は15年ぶりの勝ち点。でも「子どもの母校は我が母校」を実践し、応援団と一体となった応援合戦では負けなかったと自負しています。次回は法大の「勝利の賛歌」を歌い、「勝利の第一拍手」を見たいです。

キャンパスツアーでは、卒業生・後援会連携室の小須田博司部長、後援会松野千栄子総務のツアーガイドで、富士見ゲートとボアソナード・タワーを見学しました。大教室、オレンジホール、カフェテリア、屋上庭園、薩埵ホールなどを回り、どれもが最新設備でした。生協に立ち寄り、法政土産をたくさん買い込みました。

ボアソナード・タワー26階から見える防衛省のパトリオットミサイル（PAC3）の発射を思慮しながら、帰途に就きました。

最後に、ご協力いただいた小林顧問、松野総務、小須田部長をはじめ関係各位に感謝申し上げます。ありがとうございました。

長野県支部「信濃から信濃へ」（多摩&市ケ谷キャンパスツアーと野球応援）

長野県支部長 **中島 武彦**（慶／デザイン工学部）

10月7日（土）、8日（日）にキャンパス見学会と東京六大学野球応援ツアーを実施しました。

1日目は念願だった当支部初の多摩キャンパスツアー。丘陵地帯に建てられたコンクリートむき出しの建物かと思いきや、自然に溶け込むデザインの趣きあるキャンパスでした。いつ行っても新たな建造物が登場する市ケ谷キャンパスが大学界のサグラダ・ファミリアならば、天空の多摩キャンパスは大学界のマチュ・ピチュでしょうか。立ち止まって思わず深呼吸しつつ、道中参加者の一人が肩にかけている大きなトートバッグが目を引きました。中には、たくさんの野菜や果物。信濃のおばあちゃんが一人暮らしの孫娘を思い、育てたものだそうです。きっとバッグを開けた孫娘は、一瞬で故郷の信濃にいるおばあちゃんの姿を思い起こしたでしょう。

2日目。明治神宮野球場へ電車で移動していると、途中の駅から詰め襟の学生が乗り込んできました。座るなり、楽譜を取り出して確認しています。「もしや」と胸のバッジに目をやると、案の定「H」のエンブレムが付いていました。同志だと気付いてもらおうと、鞄から法政手旗をさりげなく取り出してみたところ、それを目にした学生さんから爽やかな目礼が返ってきました。信濃町駅で下車し、短い時間ながら彼と楽しく会話。歩道橋の向こうに先輩を見つけたときの、彼の奇麗なあいさつは見事でした。

その後、市ケ谷キャンパスツアーも終わり、家路に向かう皆さんは充実した笑顔でした。振り返ると、今回のツアーを力いっぱいサポートしてくださった本部役員、事務局、後援会クラブの皆さんの笑顔でさらに満たされました。出会った皆さんに、感謝いたします。

後援会創立70周年を心よりお祝い申し上げます

法政大学総長 **田中 優子**

法政大学後援会が創立70周年を迎えることは、総長として大きな喜びです。法政大学は今年で137年を迎えますので、後援会は大学の歴史の半分以上を担って下さったことになります。

とりわけ戦後の困難な時代は、後援会のご助力なしに、学生たちが充実した学生生活を送ることは不可能でした。

70年の長きに渡り、後援会は学生の精神的な支柱であったばかりでなく、学生が手に入れることの困難な時代にプロジェクターやDVDプレイヤー、アンプ、吹奏楽部の楽器類、チアリーダーたちの衣装など、細やかな配慮で必要なものを提供して下さいました。さらに、新しい校舎ができるたびにロールバックチェアや移動観覧席、時計塔、ベンチ、テント、学内バス、そして学生の安全を守るAEDなど、まさに学生の生活をサポートし見守る様々な有形のものも、寄贈して下さいました。

本学に特徴的なピア・サポートや自主マスコミ講座、100円朝食への補助、日常に必須の学生手帳や就職活動手帳の作製、被災学生への支援やスポーツの応援も、学生の大きな支えです。そしてとりわけ、派遣留学、体育会スポーツ奨励、外国人留学生、国家試験合格者、その他の奨学金など、学生への多様な奨学金や奨励金も、学生にとって実に心強く、ありがたいものです。

今まで後援会が学生にしてきて下さった数々の支援を一望するだけでも、本学にとって後援会がかけがいのないものであることを実感します。しかしそれだけではありません。全国で展開している各支部での総会・父母懇談会などの催し物に参加するたびに、「子どもの母校は我が母校」という気持ちで皆さんが心合わせて、大学を良くしていこうと尽力して下さる姿に心打たれ、私自身が支えられてきました。

70年を刻んできた過程には、様々な困難もあったに違いありませんが、今は後援会、校友会、大学が三位一体の力となり、本学は日本のトップクラスの大学に育ち、世界の大学へと、さらに変わろうとしています。本学が社会の中でブランド（約束）を守り、信頼あつき大学であり続けるために、またそのことによってさらなる名誉を得られるように、これからもともに歩んで下さることを、心よりお願い申し上げます。

改めまして、法政大学後援会創立70周年、まことにおめでとうございます。

2017年度後援会の主な事業

HSCホームページ「HOSEI SPORTS INFORMATION」開設

後援会、大学、校友会が三位一体で法政スポーツを応援するために活動を進めるHSC（法政スポーツコミュニティー）。その活動の一環として、会員の皆さまに体育会各部の試合情報や応援イベントを紹介するウェブサイト「HOSEI SPORTS INFORMATION」を開設しました。

http://hosei-sports.jp/

70周年記念行事、記念誌発刊

後援会70周年を迎えるにあたり、11月11日（土）市ケ谷キャンパス薩埵ホールにて70周年記念式典を開催しました。それに伴い、70周年記念誌を制作、発刊しました。

多摩キャンパスに大型バスを寄贈

東京ドーム17個分の広い敷地を誇る多摩キャンパスで、学生輸送をサポートするために新たな大型バスを寄贈しました。路線バス仕様（ワンステップ型）で、車いすでもスムーズに乗り降りできます。構内循環バスの主力車両とすべく、2017年12月下旬～2018年3月の納期を予定しています。

100円朝食の提供（市ケ谷、小金井、多摩）

「早起きして栄養バランスのいい朝食を摂る」。健康習慣を促進するため、3キャンパスの学生食堂にて、100円で食べられる朝食メニューを提供しました（各キャンパスで18日間実施、後援会から1食当たり450円助成）。学生の利用率は70.2%、そのうち1人暮らしの学生は半数近くが利用したようです。

毎日食べても飽きないよう和食・洋食メニューを日替わりで用意

後援会創立70周年記念特集

全国の会員が一丸となって学生たちを支えてきた、後援会70年の歩みを振り返ります。

後援会創立70年を迎えて

2017年度 法政大学後援会会長
中 和夫

本年、後援会は設立70周年の佳節を迎えることができました。これも1947年（昭和22年）6月の設立以来、歴代後援会活動に携わってくださいました全国の会員の皆さま、大学関係者ならびに校友会の方々のご厚情とご支援の賜物だと思い、ここに深く感謝申し上げます。

1880年（明治13年）の東京法学社設立から始まる法政大学は、2008年から2017年までの10年間に、新たに理工学部・生命科学部・GIS（グローバル教養学部）・スポーツ健康学部を設置し、合計15学部を擁する日本有数の総合大学としての確固たる地位を築き上げました。東京六大学として初めての女性総長になられた田中優子総長のもと、2016年には、大学憲章「自由を生き抜く実践知」を制定、2030年の法政大学設立150周年に向けた長期ビジョン「HOSEI2030」を策定し、グローバル化および教育環境づくりと教育内容のさらなる充実を積極的に図っています。わたくしたち後援会も、全国に多々ある大学後援会・父母会組織のフロントランナーとして、これからも会員の皆さまと共に走り続けます。そして会則で定めた通り、大学の教育方針に則り、学生や大学のために教育事業や課外活動を支援し続けます。

11月11日（土）市ケ谷キャンパス薩埵ホールにて開催された70周年記念式典は、法政大学のさまざまな軌跡を振り返るとともに、戦後間もない社会が疲弊している時期に、学生と大学への物心両面を支援するために父母たちが自らの手で立ち上げた「ボランティア組織」である後援会、その設立時の精神とご苦労を思い出す「原点回帰」の良き場だと思っています。後援会が「大学を支える大きな柱の一つ」として、ますます成長発展していくことを心より願っています。

後援会の成り立ち

【後援会の理念】
大学と家庭が統一ある教育理念のもとに学生の人間形成の推進に協力する
広い立場に立って学生生活をより豊かにする

1880（明治13）年　東京法学社（法政大学）設立

67年

1880年「君が代」誕生
1882年 日本銀行開業
1885年 内閣制度創始
1889年 大日本帝国憲法発布
1939年 第二次世界大戦勃発
　　国民徴用令公布
1940年 日独伊三国同盟締結
1943年 学徒出陣
　　（徴兵検査を経て、大学は休学とされ余儀なく入隊）
1945年 東京大空襲－終戦－

戦後の混乱の中、壊滅的状態にあったキャンパスの復興と学生の精神的指導という大きな問題に直面

1947（昭和22）年6月28日「法政大学父兄懇談会」開催
在京父母に呼び掛け

1947（昭和22）年　法政大学後援会設立

70年

子弟が充分勉強されて健康に社会に出て行かれるよう、親の立場から大学と色々連絡もいたし、責任を独り大学のみに負わせず、私どもも大学教育に理解を深めていく。且つまた私学の性質から見まして、私どもも法政の人と言う愛情を結晶して財政的方面でも出来るだけ力をあわせていく。大学の喜びを喜び、大学の悲しみを悲しむというわれらの法政にまで年を逐うて一緒に育っていくところに根本的な意義があるのではないかと存じます。学問を通じての学生への愛情は、諸先生方の心がけでありますが、私どもはそれを一層親の愛情をもって力強く支えていくことが肝心に思えます。

1952（昭和27）年度 谷口忠植理事長談

2017（平成29）年　後援会70周年

後援会の精神・理念を大切に継承し、これからも全国約2万9000人の会員の皆さまと共に走り続けます。

福島支部 キャンパス見学・スポーツ応援報告

福島支部長 **高橋 康典**（里欧／社会学部）

福島支部では10月7日（土）に、市ケ谷キャンパス見学および明治神宮野球場でのスポーツ応援を企画し、14人が参加しました。当日の天気は雨の予報で、試合が開催されるか心配しながら新幹線に乗りました。

キャンパス見学の集合場所である富士見ゲートでは、中和夫後援会会長をはじめとした本部役員の方々が温かくお出迎えくださいました。キャンパス内は、後援会本部の方に案内をしていただきました。なかなか見ることのできないキャンパスの内部を分かりやすい解説のもと、見学しました。超高層のボアソナード・タワー最上階からの都心の眺めは素晴らしく、最先端の都市キャンパスであることを実感しました。建物は、いずれも設計から施工まで強い思い入れをもって造られたものであることが伝わってきます。このような環境で学習している学生はとても幸せだと思いました。その後、キャンパス内の学食で昼食をいただき、明治神宮野球場へと移動しました。

心配していた雨も、試合の開始時には上がり、試合は予定通り行われました。相手投手の好投でなかなか得点することが難しく、ついため息をつきたくなる場面もありました。しかしすかさず、チアリーダーの「ため息ばかりついていてはいけませんよ。応援！応援！」の元気な一言。勝利を信じて、あきらめずに応援を続ける姿にハッとさせられました。

試合結果は残念でしたが、心地よい応援疲れと、前向きな学生からのパワーをもらって幸せな気分で福島に帰りました。

箱根駅伝・オレンジエクスプレスを沿道で応援しよう!

≪オール法政　箱根駅伝応援のご案内≫

法政スポーツコミュニティー（HSC※）では、2018年1月2日（火）・3日（水）に開催される第94回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）の応援を企画しています。皆さまも一緒に沿道をオレンジ色に染めて、選手たちに熱い声援を送りましょう。

応援場所は、往路復路ともに、大手町から箱根までの各所に設定します。法政大学の「オレンジ色ののぼり旗」が目印です。詳しくは、HSCウェブサイト「HOSEI SPORTS INFORMATION」をご覧ください。
http://hosei-sports.jp

■日時
2018年1月2日（火）8:00　大手町スタート（往路）
2018年1月3日（水）8:00　芦ノ湖スタート（復路）

■応援場所（予定）
大手町、蒲田、生麦、横浜駅、大磯、小田原、その他

皆さまの参加をお待ちしております。

※HSC：法政を応援する喜びを感じていただくためのコミュニティーで、法政大学後援会、法政大学校友会、法政大学教職員で運営しています。